

平成30年度 認知症介護研究・研修東京センター 成果報告会
「認知症ケアセミナー」

市区町村における 認知症介護指導者の 活動の可能性

<p>【活動事例①】 八王子市における 基礎研修の実施</p>	<p>【情報源】 ①指導者（鈴木氏・奈良田氏）へのヒアリング ②参与観察</p>
<p>【活動例②】 指導者の地域活動体制構築 （群馬県）</p>	<p>【情報源】 ①県担当者へのヒアリング ②県担当者の実践事例報告資料</p>
<p>【活動例③】 認知症初期集中支援チーム への関与調査 （関東・九州）</p>	<p>目的：指導者の初期集中支援チームへの事例を 収集し、連携の可能性を検討する。 対象：指導者ネットワークbeing 480名 調査方法：質問紙（メール配信） 調査期間：平成29年6月29日～7月14日 回収数・回収率：32名（6.7%）</p>

【活動事例①】八王子市における基礎研修の実施

当初の問題意識 （指導者ヒアリングによる）

有料老人ホームや一般の介護職員は、認知症介護関連の情報が入ってきにくい。

↓

学びの場が持てず、認知症の人とのかかわり方がわからない。

↓

基礎研修はあるが、片道2時間近くかかるケースもあり受講しにくい。

市部での基礎研修の開催

```

graph LR
    A[情報・知識  
つながり  
が得られる] --> B[明日も頑張ろう  
という前向きな  
気持ち]
    B --> C[市部の介護職  
減少の歯止め]
    
```

基礎研修の枠組み

- 実施主体：八王子市
- 講師：認知症介護指導者（2名）
- 受講料：無料
- 募集方法：八王子市から事業所へFAX
- 対象者：八王子市内の介護保険施設・事業所に従事している介護職員のうち、経験年数がおおむね3年未満
- 定員：40名
- 事務局：八王子市高齢者福祉課
- 修了証：八王子市長名で作成
- 工夫点：
 - ①八王子市の認知症施策を説明、②ケアパスを配布

スケジュール（2か月前に案内開始）

①募集開始：10/2、②申込み：10/20、③決定発送：10/30、④開催日：12/13

【活動例②】指導者の地域活動体制構築（群馬県）

【指導者修了数】35名、うち活動中24名

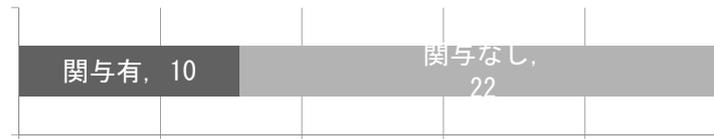
【活動促進①】 指導者情報の市町村への提供

地域での役割を担うことが可能な認知症介護指導者を事前調査し、公開の承諾を得た**認知症介護指導者の一覧を県内全市町村に配布**。以下の活動を例示。

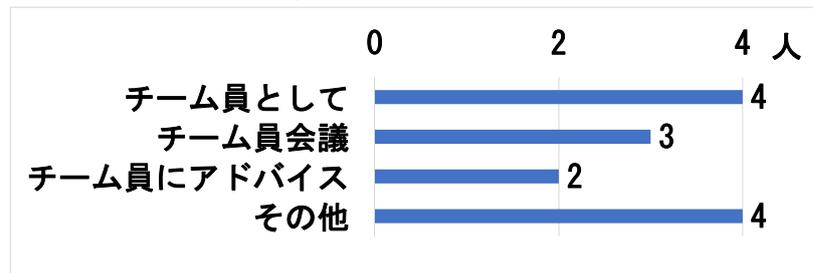
- 市町村等における研修講師
- 地域住民の方を対象とした認知症の基礎的な理解を深める啓発活動
- 認知症の人を支援する地域関係機関とのネットワーク構築および連携推進のための会議への協力や参画
- 地域における認知症のケースについての関わり方の相談

【活動例③】認知症初期集中支援チームへの関与調査（関東・九州）

認知症介護指導者の関与状況



• 関与ありの指導者の位置づけ（複数回答）（n=10）



指導者が関与する意義（抜粋）（n=10）

なぜ 役立つ か	現地に行き、 認知症に関する生活障害の把握 や 生活環境を含めたアセスメント が出来る。
	医療的な問題ばかりに目が行ってしまい、認知症の人にとってどうなのか、ということが後回しにされてしまうため
	チーム員である医者との信頼性を相互に築くコミュニケーション能力にも長けている
何に 役立つ か	ご本人とご家族への対応・配慮 ができ、 生活について一緒に考える ことができる
	認知症の人の想いが会議に出てこないことがあり、視点の軌道修正をすることがよくある。
	各チーム員の 認知症に対する下地力のばらつき の補正